

ECO REPORT 2017

環境報告書 (2016.4 ~ 2017.3)

1. エコレポート発行にあたって	1
2. 環境問題に取り組む基本姿勢	2
3. 2016年度 環境の取り組み	3
4. リユース・リサイクル回収実績	6
5. リユースびんガイド	7
6. 主な組合員活動の取り組み	8
7. 環境監査報告書	9
8. 生活協同組合パルシステム埼玉 概要	10

1. エコレポート発行にあたって

2016年度は、日本の環境政策に新たな目標が掲げられました。それは、5月に日本政府が地球温暖化対策計画を閣議決定しました。これは、2015年COP21で採択された地球温暖化対策の新枠組「パリ協定」に基づく、日本の地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画となります。中期目標として、2030年度までに2013年度比で26%削減を打ち出し、各主体が取り組むべき対策や国の施策を明らかにし、目標の達成に向けて、家庭や企業から出る二酸化炭素の4割削減など、目標達成への道筋をつけています。長期的目標として2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減をめざすことを位置付けてもいます。今後ますます、二酸化炭素の削減を事業活動と並行して進める必要があります。

一方で、温暖化の影響と思われる、異常気象が今年も見られました。関東でも11月末に強い寒気の影響で雪が降りました。東京としては観測史上初めての出来事でした。夏には、台風の襲来も大きな話題を呼び、発生数自体は25個と平年並みでしたが、第1号の発生が遅く、6月の台風ゼロは1951年の統計開始以来2度目でした。また、関東地方は渇水傾向が高まり、6月末の貯水率は例年の約半分の4割を切ってしまい、北関東では取水制限も行われた地域もありました。世界平均気温も観測史上最高を記録するなど、世界各地で異常高温が頻発、「観測史上初…」「観測史上最高…」などの報道が数多くされ、「異常気象」が常態化しつつあるといえます。

今後の温暖化対策において、技術革新の導入を積極的に行う判断とその原資を生み出す経営を組合員の皆さんの協力を得ながら進めたいと思います。

2017年6月
専務理事

横山 博志



今年度の事業活動方針に掲げたISO14001（環境マネジメントシステム）の推進を自主運営に切り替え外部機関に頼らない取り組みを行いました。2016年9月に認証を返上し、内部環境監査を総合内部監査へ移行し手順類を見直すなど、これまで培ってきた経験と知識をもとに環境負荷軽減の取り組みをすすめています。事業活動を推進する上でCO₂排出抑制の取り組みが大きな課題であり、業務で使用する車両をはじめとして、事業所設備の切り替えなど可能な範囲でCO₂排出の削減対応を実施してきました。リユース・リサイクル回収についても具体的な目標を掲げ、残念ながら未達成の項目もありましたが、組合員とともに取り組みが実践できたといえます。

パルシステムグループで立ち上げた「パルシステム電気」による新電力事業が開始されました。再生可能エネルギーを中心とした電力に切り替えることで、CO₂排出量が削減できることから、全ての事業所の電力を「パルシステム電気」に切り替える準備をすすめています。組合員向けの広報については、2017年2月より告知を開始し、各エリアでの電力学習会を開催するなど組合員への情報発信と事業推進を実施しました。

ISO14001（環境マネジメントシステム）を返上し自主運営に切り替えた事で、環境問題への取り組みが後退しないよう、事業活動をつうじて組合員とともに継続的な取り組みによる、更なる向上を目指していきたいと考えています。

2017年6月
事業管掌理事 環境管理責任者

福岡 明



2. 環境問題に取り組む基本姿勢

(1) 環境宣言

私たちは豊かな自然界の恩恵を受けて、自然と共に暮らしてきました。けれどもいまや人類の生み出した汚染は、地球の許容限度をはるかに越え、人類の生存をも脅かす重大問題となっています。

この地球は先祖から受け継ぎ、子孫に託していくものです。地球環境をまもるためには、私たちひとりひとりが暮らし方を見直すとともに、事業のあり方を変革し、持続可能な、環境保全型社会への転換をめざさなくてはなりません。

私たちはこのように考え、暮らしを守るという生活協同組合の目的にそって、環境問題解決のために力を尽くすことを誓います。

環境問題への取り組みへの基本理念

組合員・職員ひとりひとりが、限られた地球環境を大切にしていきたいと考えています。そして、環境問題を「暮らしのあり方、社会システムのあり方を問う意識革命の問題」だと認識し、事業活動も含めて前向きな取り組みをすすめます。

1998年 第5回通常総代会策定

(2) 環境方針

生活協同組合パルシステム埼玉は、理念・ビジョンに基づき、暮らしや社会の問題を解決する事業を地域の中に広げ、食料品・日用品を中心とした商品の供給、及び共済、葬祭などのサービスを組合員等に提供しています。

私たちは、これらの事業活動による環境影響の大きな項目について、技術的かつ経済的に可能な限りの範囲で、環境目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境負荷の低減・汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

また、環境関連の法律、規制、条例、パルシステム埼玉が受け入れを決めたその他要求事項を順守します。

1. 事業所における節電や環境配慮設備の導入により、CO₂の排出量削減に取り組みます。
2. 環境に配慮した商品の普及とリユース・リサイクル品の回収に組合員と共に取り組みます。
3. 一人ひとりが暮らしの中で身近にできる環境活動を応援します。
4. 産直生産者との交流を主軸に、環境保全型農業を進めます。
5. 地産地消の視点から、県内産地の商品の取扱いを増やします。
6. 再生可能エネルギーの拡大に取り組みます。

以上の活動を推進します。

1999年11月30日制定

2014年 4月 7日改定

専務理事 横山 博志

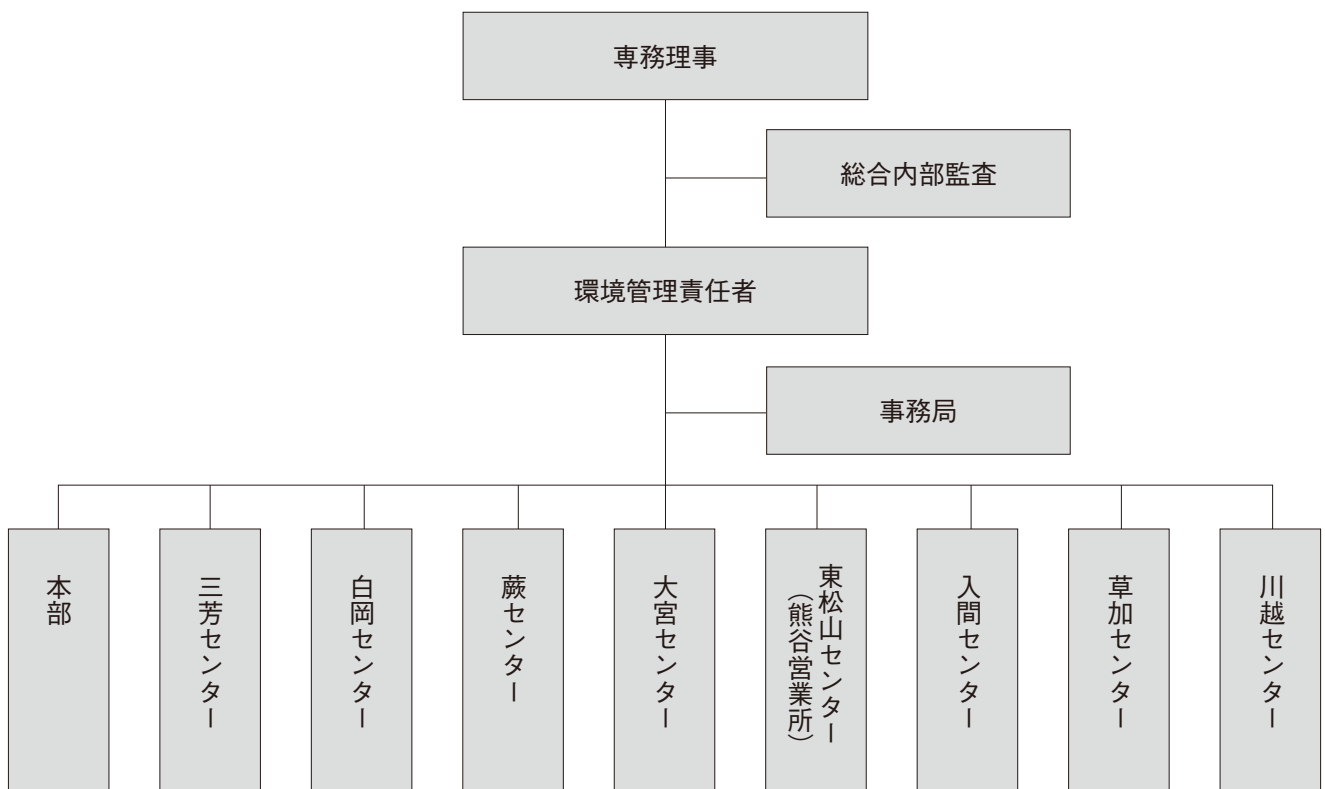
3. 2016年度 環境の取り組み

(1) 環境マネジメントの取り組み

外部環境マネジメントシステムから自主運営に変更しました。

- ・2000年に認証を取得しCO₂排出量の抑制として電気の使用量や車両燃料の使用量の管理・削減行動、環境配慮設備を積極的に取り入れてきました。認証取得から15年が経過し2016年9月30日に認証を返上し自主運営に切り替えました。

【パルシステム埼玉 環境管理体制図】



(2) 環境目標と実績

項目	目標値	実績	達成率	評価
1 商品供給高1億円当たりのCO ₂ 排出量	6,770kg/億円	6,840kg/億円	98.9%	×
2 配送1件当たりの燃料使用量	0.540 ℓ /件	0.509 ℓ /件	106.1%	○
3 加入1件当たりの燃料使用量	1.857 ℓ /件	1.813 ℓ /件	102.4%	○
4 リユースびんの平均回収率	70.0%	64.0%	91.4%	×
5 商品カタログの平均回収率	71.3%	72.7%	102.0%	○
6 産地・生産者との交流企画への参加者	1,771名	2,700名	152.5%	○
7 環境配慮商品「予約登録米」の供給数	33,631袋	34,088袋	101.4%	○
8 県内産地商品の取り扱い供給高	49,401千円	51,784千円	104.8%	○

CO₂排出量は電気、ガス、燃料の使用量と国で定めた排出係数から算出しています。主な目標未達成の要因は三芳センター移転に伴う冷凍・冷蔵設備や事務所スペースの拡張により電気使用量が増加したことによるものです。

配送1件当たりの車両燃料使用量では、LPG車からガソリンやディーゼル車への切り替えがすすんだことによる燃費の改善や配送件数が計画を超過したことにより目標達成しています。

加入1件当たりでは、営業車両の走行距離は昨年に比べ増加していますが、燃料使用量は昨年とほぼ変わらないことから、低燃費車両への切り替えや運行管理システムeテレマを導入したことによる運転マナーの意識向上が燃費改善に繋がっていると考えています。

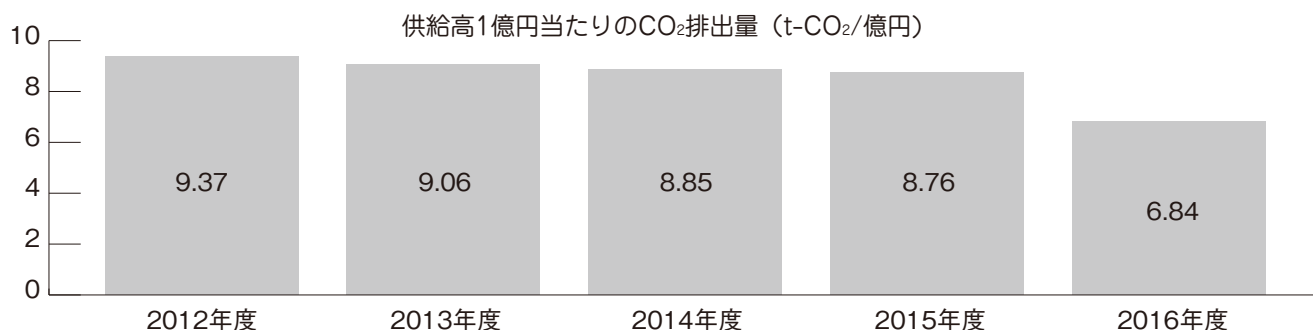
リユースびんの回収率は70%と高い目標を掲げました。4月～5月までの累計73.8%を最後に累計で70%を超えることができていません。組合員の利用が1番多いしょうゆ、つゆ、だしの900ml超軽量びんが1%、2番目に利用が多いジャムなどの200g浅が1.6%昨年と比べて回収が悪くなっています。

産地・生産者との交流企画への参加者は企画数を増やしたことや各企画への申込みが増えたことにより目標を大きく上回ることができました。また、県内産地商品の取り扱い供給高は、わくわくBOXの利用が徳用BOXを含めて好調だったことと、新規扱い商品の増加や、量目・価格の見直しをおこなったことで利用向上に繋がりました。

(3) CO₂排出量を削減するための取り組み

パルシステム埼玉では、日本生活協同組合連合会や全国の主要生協とともに、2004年度より「温暖化防止自主行動計画」を策定しています。電力・車両燃料・ガスなどのエネルギー使用量を管理し、商品供給高1億円当たりのCO₂排出量を削減する取り組みです。2016年度はパルシステム電力（再生可能エネルギー）のCO₂排出係数を適用したことからの大きな削減となっています。

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
供給高1億円当たりのCO ₂ 排出量	9.37	9.06	8.85	8.76	6.84

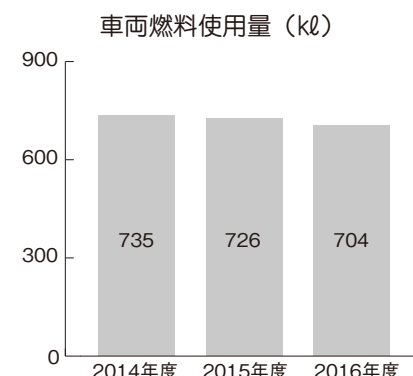
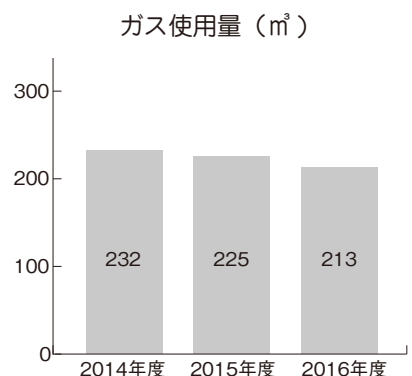
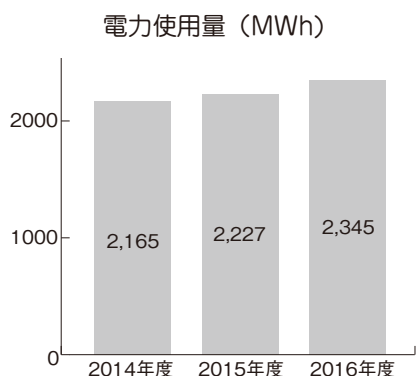


(4) エネルギー使用量

kWh	2014年度	2015年度	2016年度
電力	2,165,435	2,227,134	2,345,312

m ³	2014年度	2015年度	2016年度
ガス	232	225	213

ℓ	2014年度	2015年度	2016年度
車両燃料	734,519	726,404	703,525



(5) 再生可能エネルギーの切り替え状況

昨年までは6センターで再生可能エネルギーに切り替えていましたが、三芳センター移転のため東京電力に切り替えており、5センターになっています。2017年11月にあらためて再生可能エネルギーに切り替える予定です。

(6) 環境配慮設備の設置状況

①冷凍・冷蔵庫省エネ設備

■全センター

センターの冷凍・冷蔵庫の商品が空荷の状態となっている時間帯を割り出し、温度を上げて省エネ制御を行います。

②BMW 中水処理施設

■白岡センター、本部・蕨センター

中水処理後、トイレの流し水として再使用しています。(B:バクテリア M:ミネラル W:水)

③太陽光発電設備

■本部・蕨センター、川越センター、ぱる★てらす

蕨センターと川越センターに出力20kw、ぱる★てらすは出力8kwの太陽光発電設備を設置しています。発電した電力は事務所部分で使用し電力使用量を軽減しています。2016年4月から2017年3月までの両センター合計発電量は52,218kwh、ぱる★てらすは7,684kwhでした。

④電気自動車充電設備

■本部・蕨センター

2台ほどの電気自動車を充電できるよう設計されています。また、電気自動車を1台導入しています。

⑤LED照明

本部・蕨センター(駐車場、1F入口)、三芳センター(事務所、倉庫)、白岡センター(事務所、倉庫、駐車場)、大宮センター(倉庫)、東松山センター(倉庫)、草加センター(倉庫)、川越センター(事務所、駐車場)

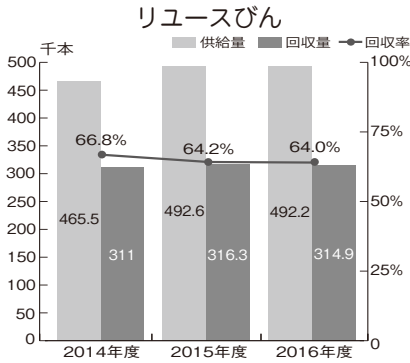
(7) 組合員活動施設「ぱる★てらす」の状況

電力使用量	38,711kwh
ガス使用量	106m ³
水道使用量	180m ³
太陽光発電	7,684kwh
CO ₂ 排出量	17,021kg

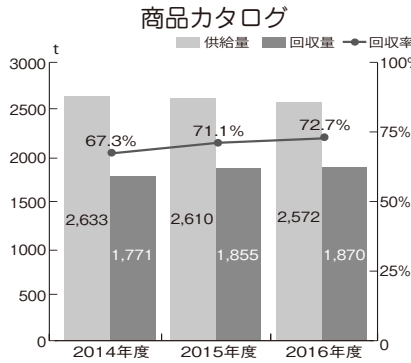


4. リユース・リサイクルの回収実績

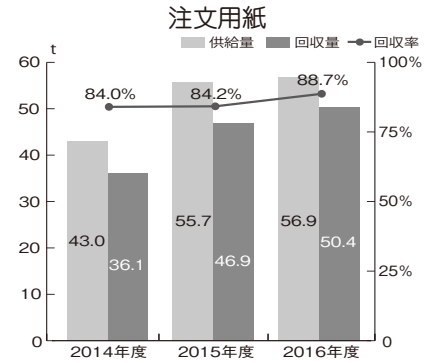
(本)	2014年度	2015年度	2016年度
リユースびん	465,479	492,555	492,199
回収量	311,032	316,330	314,908
回収率	66.8%	64.2%	64.0%



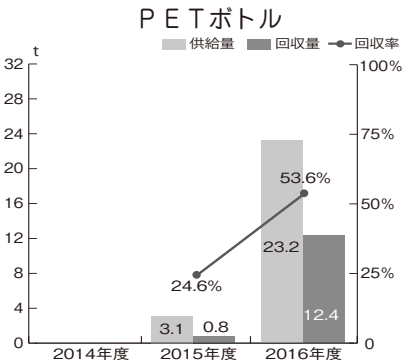
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
商品カタログ	2,633,025	2,610,842	2,572,301
回収量	1,771,826	1,855,903	1,870,390
回収率	67.3%	71.1%	72.7%



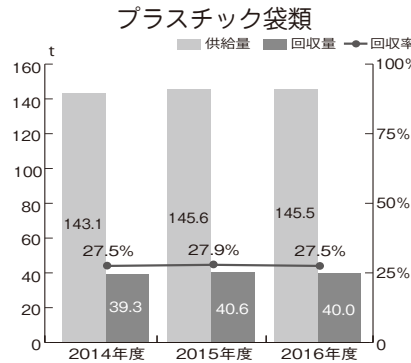
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
注文用紙	42,976	55,727	56,866
回収量	36,109	46,919	50,446
回収率	84.0%	84.2%	88.7%



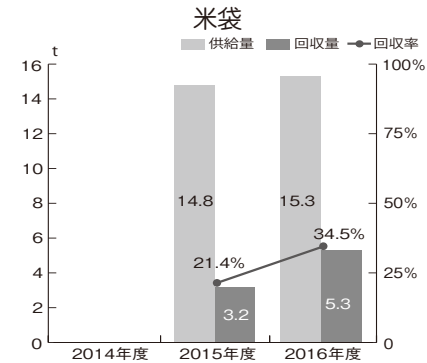
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
PETボトル	0	3,075	23,159
回収量	0	757	12,420
回収率	0	24.6%	53.6%



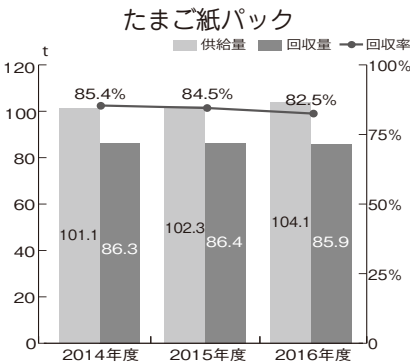
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
プラスチック袋類	143,096	145,593	145,476
回収量	39,329	40,605	39,951
回収率	27.5%	27.9%	27.5%



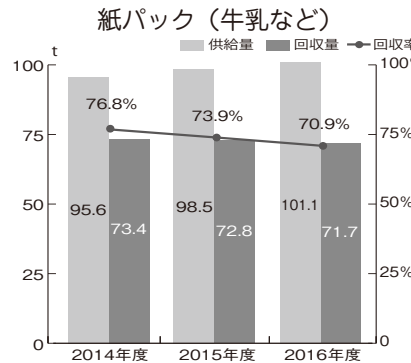
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
米袋	0	14,769	15,288
回収量	0	3,156	5,279
回収率	0	21.4%	34.5%



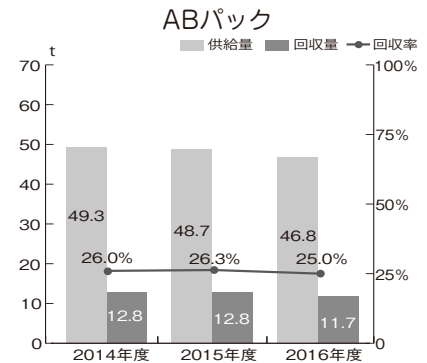
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
たまご紙パック	101,068	102,318	104,133
回収量	86,293	86,441	85,941
回収率	85.4%	84.5%	82.5%



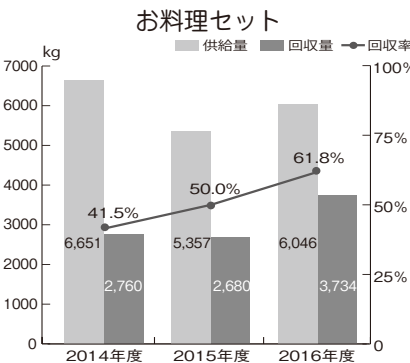
(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
紙パック(牛乳など)	95,586	98,515	101,105
回収量	73,443	72,820	71,708
回収率	76.8%	73.9%	70.9%



(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
ABパック	49,263	48,699	46,756
回収量	12,808	12,810	11,704
回収率	26.0%	26.3%	25.0%



(kg)	2014年度	2015年度	2016年度
お料理セット	6,651	5,357	6,046
回収量	2,760	2,680	3,734
回収率	41.5%	50.0%	61.8%



5. パルシステムのリユース・リサイクルの取り組み

マークがついているからパルシステムへ戻そう!

2017年保存版 パルシステムの リユースびんガイド

リユースびんは、洗ってくり返し使える環境にやさしい容器です。組合員のみなさんには引き続き返却のご協力をお願いいたします。

対象商品 (2017年4月現在扱っている全商品)

※商品名、パッケージの写像是2017年4月現在のものです。



900ml びん

900ml 超軽量びん



720ml びん

500ml 超軽量びん



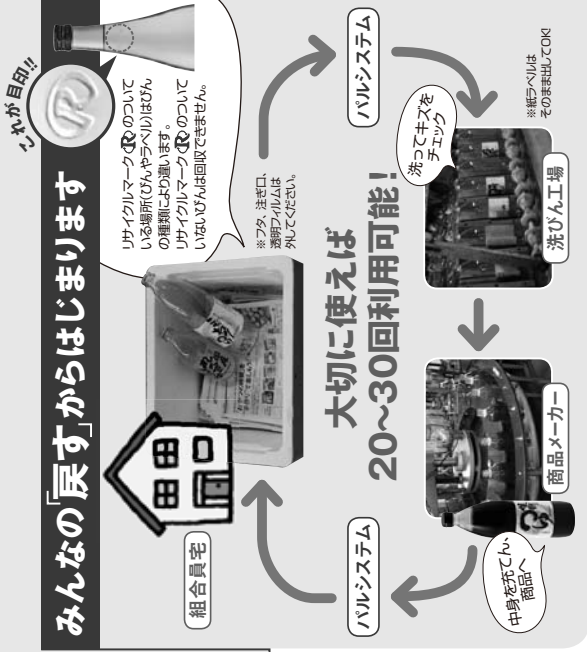
360ml びん

350ml びん



200ml 深型びん

200ml 細型びん



6. 主な組合員活動の取り組み

① ホテルから学ぶ！私たちの暮らしと自然

・人の暮らしと生態系とのつながり、ホテルの生態と鑑賞するときの注意などを学びました。

② 「未来のための電力を選ぼう！」

・「何故パルシステムでは電力事業を進めるのか？」「電力の切り替えをするにはどうすれば良いの？」など電力の自由化とパルシステムの電力事業について学習会を開催しました。

③ キャンドルナイト夏至

・福島県双葉町から埼玉県旧騎西高校に避難され、避難所の人たちと訪れた人が自由に交流できる「Fカフェ 珠寿(JUJU)」の運営をされた鵜沼友恵さんを招き震災当時の体験や思いを全員で振り返りました。

④ 今年の夏は熱帯博士！？

・オラウータンが生息している熱帯雨林の面積が少なくなっていること、アブラヤシから採るパーム油を使っているのは、わたしたちでプランテーションが大きくなり問題になっていることを知ることができました。

⑤ 親子で挑戦！世界に一つだけのお箸づくり

・夏休みの親子企画としてお箸知育教室とお箸づくり体験を開催しました。箸の歴史と、原材料や塗料、正しい持ち方を学びました。

②



③



⑤



⑥ 「石けんとムサシトミヨ」の学習会

・埼玉県の魚であるムサシトミヨの生態と、石けんの上手な使い方について知り、身近なところから環境を守るよう学べた一日になりました。

⑦ ホットと一息♪気軽に手軽にお茶タイム♪

・年々プラスチックのゴミが増え続け、減らす対策をとらないとリサイクルでは莫大な費用がかかり、環境への悪影響も考えられます。ペットボトル飲料を買う前やスーパーなどでレジ袋をもらう前に、本当に必要なのか？を考える機会になりました。

⑧ 「環境にやさしい電気をえらぼう～キャンドルナイト冬至～」

・ちょびっとエネルギーのこうやまゆみこさんを招き「電力自由化」を中心に話を伺いました。「電力会社の見直しをする前に、まずは家庭の電気料金表から使用電力の契約内容を見直してみましょう」。電力のしくみと家庭の使用家電の消費電力についてオリジナルの紙芝居を使い説明されました。

⑨ 「初春！街の生きもの観察会」

・自然観察指導員の山口義明さんを講師に「初春！街の生きもの観察会」を開催し外来種について学習と白幡沼(さいたま市南区)を観察しました。

⑥



⑦



⑧



7. 環境監査報告書

● 環境監査報告

生活協同組合パルシステム埼玉「環境監査規程」に基づき、2016年度の環境監査を実施しましたので報告します。

2016年9月にISO14001の認証を返上し自主運営に切り替えました。

外部機関の監査がない中、8つの環境目標を掲げ事業・活動に取り組んできました。

CO₂排出量の関係では、車両燃料から排出されるCO₂の抑制はすすみましたが、三芳センターの移転による設備などの拡張があり、電気使用量が増加し、目標値まで削減することができませんでした。一方、パルシステム電力の設立によりCO₂排出量が少ない再生可能エネルギーの普及がすすんだことは評価します。原子力や化石燃料に頼らない再生可能エネルギーの普及に引き続き取り組んでください。

リユース・リサイクルの取り組みでは、リユースびん、商品カタログの回収に目標を持って取り組みましたが、リユースびんの回収は目標に届かず昨年度の実績も下回りました。広報の強化や組合員の協力を得ながら回収向上に努めてください。

組合員活動では、環境委員会や環境テーマグループを中心に活発な活動が行われています。組合員の環境への意識がさらに向上することを期待しています。

2017年4月27日

生活協同組合パルシステム埼玉 環境監査委員会
委員長 関延子 委員 奥野友佳子 谷口洋美 中村明美

● 環境監査報告を受けて

2016年度の環境監査を実施いただき、ご意見・ご提言をありがとうございます。今回の評価を真摯に受け止め、今後の課題として更なる改善に向けて努力いたします。

2016年4月に電力小売全面自由化が始まりました。パルシステムグループでは10月からの組合員への電力供給開始にあたり案内を開始し、年度末には1600件を超える契約件数となりました。パルシステム埼玉でも2月から案内を開始し121件の契約をいただいています。今後も原子力や化石燃料に頼らない社会づくりを目指し、CO₂排出量が少ない再生可能エネルギーの普及に取り組んでまいります。

また、廃棄物削減と有限な資源の活用のため3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進や環境負荷、人体への影響を軽減するために環境配慮商品への切り替えを組合員活動とも連携しながら取り組んでまいりますのでご協力をお願いいたします。

2017年5月8日

生活協同組合パルシステム埼玉 理事長 田原けい子

8. 生活協同組合パルシステム埼玉 概要

		2014年度	2015年度	2016年度
出資金高		6,532,570千円	6,790,837千円	7,042,878千円
供給高		24,417,861千円	25,175,523千円	25,714,460千円
組合員数		181,764名	188,136名	196,816名
従業員数	正 規	90名	91名	97名
	定 時	469名	490名	495名

(1) 本部所在地

〒335-0005 埼玉県蕨市錦町2-10-4

本部：総務人事部 財務経理部 事業部 機関運営部 組織運営部 マネジメント推進室 地域活動室

(2) 各事業所の所在地

三芳センター	入間郡三芳町上富891-1	東松山センター	東松山市松本町1-11-62
白岡センター	白岡市上野田1187-1	入間センター	入間市扇町屋4-8-4
蕨センター	蕨市錦町2-10-4	草加センター	草加市青柳3-30-15
大宮センター	さいたま市見沼区中川145-129	川越センター	川越市石田60-1

熊谷営業所	熊谷市鎌倉町74セブンビル3階
-------	-----------------

2017年 エコレポート（環境報告書）

発行日 : 2017年6月13日
発行 者 : 生活協同組合パルシステム埼玉
〒335-0005 埼玉県蕨市錦町2-10-4
TEL 048-432-7093 FAX 048-432-0850
U R L : <http://www.palsystem-saitama.coop>
